

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2019年11月21日 No. 340

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2019年度

年末手当妥結しました！

経営側は私たちの「3, 4ヶ月の年末手当要求」に対して11月13日、「**基準内賃金の3, 18ヶ月分**」、「55歳以上の社員に一律5万円の加算」および、「グリーンスタッフの精勤手当に一律5万円の加算」については「**加算する考えはない**」との回答を示し、本部は14日に経営側に**妥結**を回答しました。3, 18ヶ月回答は5年連続です。

過去6年間の年末手当支給月数

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
3, 12ヶ月	3, 18ヶ月	3, 18ヶ月	3, 18ヶ月	3, 18ヶ月	3, 18ヶ月

過去5年間の「連結」決算損益計算書(2019年度は第2四半期決算) (単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
営業収益	28, 671	28, 808	29, 501	30, 020	15, 188
営業利益	4, 878	4, 663	4, 812	4, 848	2, 965
経常利益	4, 289	4, 123	4, 399	4, 432	2, 719
当期純利益	2, 453	2, 779	2, 889	2, 952	1, 885

本部交渉団は『5期連続となる3, 18ヶ月の回答、2項、3項のゼロ回答は「JR労働者の努力に応える回答ではない」旨を確認する一方、『第2四半期決算を増収とし、さらに「増益」へと転じさせたことは「社員の努力の成果である」として感謝を述べていること』『回答日および支払日が適切であること』『基準額において「プラス何万円」とした回答ではなく、要求通り月数での回答を引き出したことは評価できる』と確認し、『悔しさを次の取り組みにつなげる』との決意を踏まえて「妥結」の判断を行い、経営側に通告しました。

年末手当満額獲得のたたかいが始まって以降、各支部・各分会で職場集会やメッセージ、檄布、檄色紙等の取り組み、組合未加入社員や他労組組員との共同行動、情報・宣伝活動の徹底と交渉メモの活用など様々な取り組みを創り出してくださいありがとうございました。

2019年度年末手当の取り組みは台風15号、19号および大雨による被害を受け、下期ならびに通期業績に与える影響を留意し、3, 4ヶ月分を柱とする理性的な要求を創り出してきました。年末手当に対する回答の悔しさを「2020春闘」や「2020年度期末手当」などに繋げ、「新たなジョブローテーションの実施」などの会社施策に「全JR労働者の力」で立ち向かいましょう！

悔しさをバネに次なるたたかいをつくり出そう！